

ティーンズミュージカルワークショップ

取組の背景・目的

品川区には、様々なコンセプトの下、「ティーンズプラザ」として中高生の活動を支援している9館の児童センターがあります。その中で富士見台児童センターは「表現活動」と「スポーツ活動」を柱に「ティーンズプラザ富士見台」として、平成17年にリニューアルいたしました。以来、中高生が自分を見つめ、自分を発見し、確かな自分の道を歩んで行ってほしいとの願いをこめ、「ミュージカル」のワークショップを18年間実施しています。5～7月は、広い年代にミュージカルを知ってもらうために、対象の年齢を小学生以上とした「体験ワークショップ」をおこなっています。9月からは、中高生を中心とした固定のメンバーで「創作ワークショップ」を開始し、1月の発表公演に向けて取り組んでいます。発表公演後は、鑑賞した子どもたちを中心に次世代のメンバーの発掘を目的に「拡大ワークショップ」を実施しています。このように年間をとおして「ティーンズミュージカルワークショップ」に取り組み、子どもたちの創造力や表現力を養い、豊かな人間性を育み、同じ目標に向けて協力することでの絆の深い異年齢の仲間作りを経験するよう支援しています

取組の概要

- 実施場所 富士見台児童センター（公設公営） クラブ室・遊戯室 ピアノ常設
- 実施時間 5～7月 「体験ワークショップ」全3回水曜日 午後5時30分～午後7時45分
9～1月 「創作ワークショップ」毎週水曜日、冬休み期間は月～土曜日
午後5時30分～午後7時45分（冬休み期間午前10時～午後3時）
1月上旬 「発表公演」
1月末 「拡大ワークショップ」 土曜日 午後3時～午後5時
- 講師 ミュージカルカンパニー「イツフォーリーズ」・株式会社オールスタッフ
- 運営方法 正規職員2名が担当し、地域で活動する音楽家に歌唱指導および演奏を依頼。また近年はティーンズミュージカルを卒業したOB・OGがスタッフとしてサポート
- 内容 メンバー全員での作品創り・発表公演
演劇・ダンス・歌の指導/大道具・小道具・衣装の製作



工夫点・留意点

- ・ティーンズミュージカルワークショップをするにあたり、ここ数年より子どもたち主体でミュージカルを作っていくために、役を演じることに加えて、参加した子どもたち全員が振付係、作曲や歌の係、衣装係、大道具小道具の係を分担しそれぞれが中心になり責任を持ってすすめています。会場づくりや公演後の片付けも子どもたちを中心に行いました。
- ・近年、ティーンズミュージカルワークショップに参加していた子どもたちが卒業してからもOB・OGとしてサポーターになり、自身の経験をもとに、脚本制作や演出の補助、ポスター制作等多岐にわたって力を貸してくれています。自身が参加していた時とは立場が変わり悩みながらも、中高生にとって不安や心配なことも気軽に話ができる心の支えになる存在となってくれました。

取組の効果

- ・今年度、創作ワークショップに小学4年生～高校3年生の9名が参加し、作品を作りあげました。2回の発表公演の来場者は、定員50名中1回目公演43名、2回目公演50名でした。今年度もミュージカルカンパニー「イツフォーリーズ」の指導の下、感染症対策を講じながら、地域の方々や卒業生に支えられて発表公演を実施できました。人数制限を設けたものの、観覧者の前で公演ができたことにより、子どもたちにとって達成感を得られる機会になりました。来場者の方の感想には、感動して涙がでたという声も多く、子どもたちが真剣に仲間と取り組む姿は、来場者の方の心を動かしたようです。そして、子どもたちは更なる絆を深め成長することができました。
- ・練習を始めたばかりのころは自信がなく声が小さかったり、動きが小さかったりした子どもたちが、プロのミュージカル俳優の講師から、演劇のみならず歌、ダンスの指導を受け、稽古を重ねる中で、発表公演では、自信のあふれる成長した姿を見せてくれました。また、練習のない日も自主的に集まってダンスの練習をしたり、大道具を作ったりする姿がありました。発表公演後の子どもたちの感想には、「仲間と助けあって舞台に立ててよかった」、「本気で向き合える大切な居場所になった」などがあり、ミュージカルを通した仲間作りができました。

課題・今後の展開

これからも富士見台児童センターでの「ティーンズミュージカル」の活動を継続し、発展していくためには、その取り組みを多くの子どもたちや地域の方々に知ってもらい、裾野を広げていくことが課題と考えています。将来ティーンズになる小学生を対象とした「体験ワークショップ」に力を注ぎ、地域の公共施設でミュージカルに関わる活動などの企画を実施して、幅広い年代にミュージカルを知ってもらい、参加者を増やしていきたいと思います。

また、ティーンズミュージカルに取り組むティーンズたちの姿をさらに発信していきたい、と考えています。きたる20周年に向けて、参加している子どもたちが目指している、富士見台児童センター内ではなく、外部の会場での「発表公演」実施も視野に入れ、地域の方々や多くの子どもたちに、中高生の活躍を見てもらえる機会を作りたいと考えています。

そして、地域に根ざした児童センターで実施している強みを生かして、OB・OGの力や地域の方々に支えてもらっていることを地域資源と考え、子どもたちと地域の方々とともに作っていく事業を目指していきたいと思います。